



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「言葉より行動を」 “Talk Less, Do More”
スローガン	「今すぐやろう！」 “Do it Now”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia, One World”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 “To walk together, echoing each other”
スローガン	「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
中部部長主題	「“将来を見つめたワイズ活動！”を今やってみよう！」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたワイズライフを！」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club !”
会長：澤瀬 諭, 副会長・会計：川村孝治, 書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句： 神を愛する者たち、つまり御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、私達たちは知っています。 ローマの信徒への手紙 8章 28節

2015年4月強調月間

YMCA サービス・ASF

ワイズは YMCA スタッフ、ユースと手を取り合って、共に活動し、共に成長しましょう。

藤本義隆 Yサ・ユース事業主任 (阿蘇クラブ)

<p>☆☆☆ 4月第一例会案内☆☆☆</p> <p>金沢 YMCA 主催 “たけのこ掘り体験” に参加</p> <p>日 時：4月 29日 (祝・水)</p> <p>会 場：北陸学院三小牛キャンパス</p> <p>会 費：2,000 円</p> <p>準 備：竹中ワイズ</p> <p>***プログラム***</p> <p>*このプログラムは仮に設定したものであり、実際には金沢 YMCA 企画のプログラム(たけのこ掘り、たけのこ料理、ゲームなど)により進行いたします。</p> <p>司 会 : 北ワイズ</p> <p>開会・点鐘 : 澤瀬会長</p> <p>ワイズソング : 一同</p> <p>今月の聖句 : 司会者</p> <p>ゲスト紹介 : 司会者</p> <p>今月のハッピーバースデー : 澤瀬会長</p> <p>平口ワイズ (4日)</p> <p>食前の感謝 : 平口ワイズ</p> <p>—— 会 食 ——</p> <p>事業委員会報告 : 各委員</p> <p>ニコニコタイム : 北ワイズ</p> <p>閉会点鐘 : 澤瀬会長</p> <p>*例会に使用済み切手、アルミ缶、ワイズ用布製品をご持参下さい。</p>	<p>☆☆☆ 3月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会] 3月 12日 (木) 19:00~21:00、金沢白鳥路ホル、卓話「米の調理方法と食べ方の変遷」小林正史氏 (北陸学院大学人間総合学部教授)、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。</p> <p>[第二例会] 3月 26日 (木) 19:00~21:00、竹中チャペル、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。</p> <p>第3回中部評議会・中部 EMC200 推進委員会 4月 25日 (土)、金沢彩の庭ホル。中部合同ネット会 4月 25日 (土)~26日 (日)、金沢彩の庭ホル、参加予定：北・澤瀬・平口。金沢 YMCA たけのこ掘り体験 4月 29日 (祝・水)、北陸学院三小牛キャンパス。</p> <p>今月の聖句について 『讚美歌 21』463 番 (『讚美歌 I』494 番) の曲名は PROVIDENCE (摂理) であり、この讚美歌の関連聖句のうちの一つが今回の「今月の聖句」である。歌詞の 1 は「わが行くみち いかにかになるべきかは つゆ知らねど、主はみこころなしたまわん」で、「主はみこころなしたまわん」と、これに続く「そなえたもう 主のみちを ふみて行かん ひとすじに」は、1~3 共通の繰り返しとなっている。(平口)</p> <p>5月の当番 準備：平口、司会：竹中</p>
---	--

当クラブ	3月出席者	3月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	ワイズ 5名	83%	前月繰越切手 2,960g	前月累計 63,048円
広義会員 0名	メネット 0名		3月分切手 155g	3月 8,000円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーカー 0名	今年度累計	
	ゲスト 0名		切手 3,115g	
			現金 0円	
合計 6名	5名	83%		累計 71,048円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 3月第一例会に参加して ◆

北 肇夫

2015年3月12日(木)19:00~21:00、金沢白鳥路ホテルで開催された例会は、小林正史氏(北陸学院大学 人間総合学部教授)を卓話者として招き、「米の調理法と食べ方の変遷」についてパワーポイントのスライドを利用しながら分かりやすく紹介していただいた。

はじめに、日本の伝統的食文化として世界的に注目されている「和食」の特長について解説がなされた。続いて、欧米の食文化との違いなどの比較検討を通して、健康食としての「和食」についても理解することができた。また、お米の品種による「粘り気度」と炊飯方法・食べ方との結びつきの側面から、南アジア・東南アジア・日本の食文化について興味深い話が伺えた。

今回の例会には女性の参加はなかったものの、男性側から見ても興味深い内容であり、「手食」は「文化的に劣った食べ方」では決してなく、地域の環境と食材に最も適した食べ方であることも理解でき、感銘を受けた。



◆ “新幹線おもてなし大作戦” クリーンアップ ◆

澤瀬 諭

3月8日(日)午前7時から地元町内会と金沢YMCA・金沢川ワイズメンズクラブの合同で、今にも雨が降りそうな中、新桜坂緑地(W坂)周辺の清掃作業を行なった。県民待望の北陸新幹線開業を6日後に控え、金沢市が「新幹線おもてなし大作戦」と銘打って例年より早く実施したキャンペーンに呼応したものである。

北ワイズの日頃の活動のおかげで、予定どおり1時間ほどで綺麗にすることができた。新幹線で訪れる観光客に“おもてなし”の気持ちが伝われば大変うれしく思う。参加された皆さんに感謝。

◆ 2014年度次期会長・主査研修会参加記 ◆

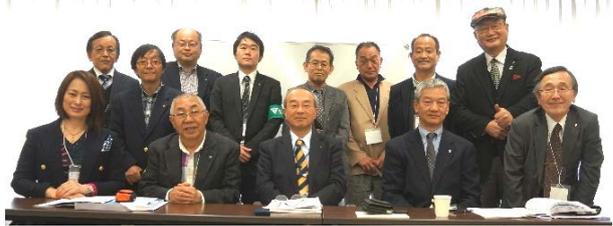
次期会長 平口 哲夫

3月7日(土)~8日(日)、大阪コンファレンスセンター(旧・チサンホテル新大阪)で西日本区次期会長・主査研修会が開催された。次期会長として参加するのは5度目であるが、次期中部広報主査として参加したことも1度あるので、合わせれば6度目の参加となる。

これだけ場数を重ねれば万端滞り無く実務をこなせるかという、たぶんそうはいかないだろう。なぜなら、その場では分かったつもりでも、年齢が年齢だけに、右の耳で聞いたことがすぐに左の耳に抜けるごとく忘れてしまい、多忙な日常生活において、実際には思うようにいかないことが多いからである。互いにチェック機能を果たせるように心がけ、注意深く取り組む

ようにしたい。

実務的なことはともかく、研修会を通して新たな出会いがあり、また相互理解を深めることができるという点では、何度研修会に参加してもそれなりの意義があると言える。たとえば、7日16:45~17:45に行われた「L6会長の責務B」(経験のある会長を対象)の講師、中堀清哲元部長(鹿児島クラブ)の話は、英語教室の先生になられた経験をふまえたものだけに面白く、示唆に富む内容だった。



(各部に分かれての懇談における中部の集合写真)

◆ 愛犬“リタ”の思い出 ◆

澤瀬 諭

2001年3月18日は、我が家の愛犬“リタ”が亡くなった日である。今年も安置場所である西部緑地動物霊園ペット愛葬社から3月22日(日)合同法要開催のお知らせが届いた。早いもので、亡くなってから14年目を迎えたことになる。

当日は、愛犬を一番可愛がっていた娘が横浜の嫁ぎ先から二人目のお産を控えて帰ってくる日とまたま重なり、孫娘と4人で参列した。愛犬家、愛猫家の多くの方が出席をされ、年々増えていく安置場所にたどり着くのも一苦労であったが、なんとか済ませることができた。

1990年に我が家に来た愛犬の物語を、薄れていく記憶をたどりながら少し綴ってみたいと思う。

(つづく)

◆ “ご縁”と“摂理”(12) ◆

平口 哲夫

前回紹介した山下栄三氏の論文には、“キリスト教の場合、「運は神の支配の中にある」とするのが正当の信仰であるが、何故幸運、不運の別があるのかは説明できない。もし「運は神に依らない」と考えるならば、それはやはり部分的な無神論となるし、それを決めるのは偶然であり、確率に過ぎないことになる。認識と信仰の違いはここでも行くてを阻んでいるが、超越の世界に眼を向けて自然との関係よりも人格の関係へと進み、認識を超えた信仰を理解したいと願うばかりである。”と記されています。この「運」という箇所を「自然法則」に置き換えると、「自然法則は神の支配の中にある」とするのが正当なキリスト教信仰だということになります。

実際、使徒信条の冒頭には「我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず」と記されています。「天地の造り主」なのに自然法則を支配できないのなら「全能」とは言えないのではないか、という疑問が生じますが、この問題の解決は「全能」をどう解釈するかにかかっていると思います。

(つづく)